

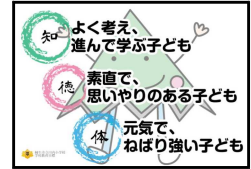


川内小学校だより

ゆずり葉

第12号

令和元年11月29日
桐生市立川内小学校発行



感謝の気持ち

保護者の皆様は、どんな時にお子さんから感謝の気持ちを伝えられることがありますか？「母の日」や「父の日」、または誕生日など家庭内における記念の日でしょうか。それとも日常的に「ありがとう」の言葉が自然に飛び交っているのかもしれませんが、どんな人でも、人からお世話になっていることがたくさんありますが、その際に生まれる「感謝の気持ち」についての感じ方は、人によって随分差があるような気がします。大人でもそうですから、子どもたちには、さらに大きな差があるように感じます。



先週22日（金）の朝活動において感謝集会を行いました。この集会にご招待したのは、読み聞かせボランティアの皆様、川内駐在署員さん、交通指導員の皆様、民生・主任児童委員さん、スクールバスの運転手さんです。ご都合がつかず欠席の方もいらっしゃいましたが、出席いただいた方々には、児童から感謝の言葉を述べたりその思いを込めた作文を贈らせていただいたりしました。日頃からお世話になっている方々に、多少なりとも子どもたちの「ありがとう」の思いが伝えられる場になったのであればとても嬉しく思います。

上でもふれましたが、感謝の気持ちの感じ方や表し方の違いは人によって様々です。これは教えごだけとは言い切れない部分もありますが、今、人として成長過程の途中にいる子どもたちには、特に伝えていきたい、はぐくんでいきたいものだと考えます。いくら言っても指導しても、受け皿としての心が育っていないと「感謝の気持ち」を膨らまらせることは難しいものですが、「形」から入ることも1つの手立てだと思えます。こうしたことから「感謝集会」開催の意味は大きいと考えます。



<受賞した4年生の作文朗読>

感謝の思いがつづられたものでした。親に、家族に、先生に、周囲の人たちにお世話になっていることを感じ、感謝の気持ちを膨らませる…そんな心豊かな人に成長していけるよう、学校での働きかけを一層充実させたいと考えています。

先日、桐生市の「父母の日大会」、そして群馬県の「父の日大会」において作文コンクールの表彰式が開催されました。川内小からも3名の児童が最優秀賞や優秀賞を受賞し表彰されました。作文の内容はお父さんへの感謝の思い、お母さんへの



<受賞した1年生と、2年生>

火災避難訓練を実施しました（11／22）

今年度はこれまで①地震避難訓練（引き渡し訓練）、②不審者対策避難訓練、③火災避難訓練と避難訓練を積み重ねてきました。毎回、子どもたちに呼びかけていることは、「真剣に取り組む！」というものです。真剣に取り組む訓練を繰り返すことで、万が一の時に訓練してきたことが生かされます。言い換えれば、真剣に取り組んでいないと全く意味がないものとなります。最近の台風被害の報道で、その対策として頻繁に話題に取り上げられていることの1つに「避難行動に関する見直し」があります。地域によって予想される災害の種類や被害の様子については様々ですが、想定されるどんな災害に対しても迅速かつ的確に対応できるよう準備していくことは大切です。



今回の火災被害はどの学校でも起こる可能性があります。いざという時、子どもたちが自分の身を確実に守れるような高い意識と判断力・行動力を培っていけるよう指導して参ります。

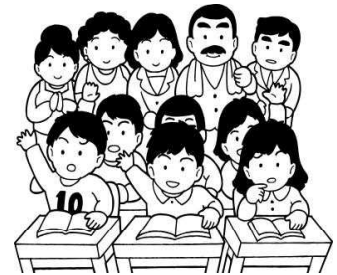


「学校公開」に多数のご来校有り難うございました。

27（水）は本校の学校公開に大勢の保護者・地域の皆様方にお越しいただき有り難うございました。特に地域の方々には、日常の学校での授業の様子についてご理解いただくよい機会です。

保護者の皆様はお気づきの通り、この数年、授業スタイルが急激に変化してきています。学習中にコンピュータを使ったり画像・映像を見ながら進めたりと ICT やデジタル化が進み、これらを活用した授業が増え、実際に参観いただければ少し前の授業とは随分様相が変わってきたことがお分かりいただけます。今の子どもたちはそれが当たり前になっていますが、近い将来、桐生市でも教室で1人1台のタブレットが割り当てられ、これを用いながら授業を進めるのが当たり前になっていくと予想されます。

さて、ICT やデジタル化は急激に進んできていますが、子どもたちの心をはぐくむ教育は、何ら変わることはありません。登校してから帰るまでの間、子どもたちの言動から、そのよさや活躍を褒めたり、気になる点や改善すべきところは指導したりします。それは外部の方が見に来ている授業参観においても同様で、“よいところは大いに評価する”“よくないところは改めるように促す”のスタイルはブレることのないように心がけています。保護者、地域の皆様方には、これからも様々な機会に学校へ足を運んでいただき、見守りと応援をお願いできたら大変嬉しく思います。



----- 校長室でのひとりごと… -----

保護者や地域の方が参観に来ると、子どもたちはとっても張り切る。普段より積極的に手を挙げ発表する姿が見られる。集中力や真剣さが増し、あまり注意を促す必要もなくなる。「いつも、こうした集中力で取り組んでいてくれたらすばらしいな」と思いながらも、素直で正直な川内小の子どもたちを見ていると思わず笑顔になってしまう。